



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数 2,798 (-7)
人口 6,148人(-21)
男性 2,870人(-9)
女性 3,278人(-12)

(平成26年6月1日現在)
(カッコ内は平成26年5月1日比)

会員増加で組織強化へ 26年度城北コミュニティ総会

城北コミュニティ「明倫の里 城北」(鈴木厳会長)では、平成26年度総会を5月18日、明倫センターで開きました。代議員150人中、81人

が出席しました。委任状40人。総会では、平成25年度の事業・決算(424万3276円)報告と平成26年度の事業計画・予算(351万1479万円)が承認

されました。七つある部会では、さまざまな研修

を通じて事業の充実を図ることにしています。予算面でも配慮しています。役員改選も行いました。(役員一覧は2面に掲載しています)
鈴木会長は開会あいさつで、「平成25年度の事業計画は完全に消化したと思っています。地域住民の強いきずなのあかし、と感謝しております。今後はコミュニティへの加入増加で縦のきずなを強めることを目ざしたい」と話しました。

来賓の梶正治市長は「市長に就任して地域コミュニティの大切さを改めて実感しています。今後、市の施策に地域コミュニティの意見が反映されるシステム作りを進めていきます」と述べました。
総会開会に先立ち、体育振興に尽くされてきた前城北コミュニティ体育部会長・前市体育協会城北支部長の水早和夫さん(御供所町1丁目)に市体協城北支部、城北コミュニティから感謝状を贈りました。



総会で開会のあいさつをする鈴木会長

(単位:円)

平成26年度収支予算		
収入の部		
前繰入金	629,679	
市助成金	1,739,000	
市社協補助金	410,800	
地区社協会費	432,000	
助成金	300,000	
合計	3,511,479	
支出の部		
I 事業費	3,241,000	
1 総務部	1,085,000	
2 広報部	380,000	
3 文化部	136,000	
4 福祉部	525,000	
5 環境部	476,000	
6 保健部	339,000	
7 体育部	300,000	
II 運営費	90,000	
III 予備費	180,479	
合計	3,511,479	

平山保育所で開催 ほくほくまつり

「第18回ほくほくまつり」は10月12日(日)に平山保育所で開催することに決まりました。

平成26年度の主な事業

平成26年度城北コミュニティの主な事業は次の通りです。(紙面の都合上、実施済みのものは割愛しました)

【総務部会】第18回ほくほくふれあいまつり、第15回城北明倫まつり、各種研修会

【広報部会】広報紙「ともしび」年4回発行、ホームページ運用、CVC(申請テレビ)

【文化部会】脳トレ講座、いきいき講座、まち歩き

【福祉部会】一人暮らし老人、寝たきり高齢者の友愛訪問、障害児の激励、一人暮らし老

人にほくほくふれあいまつりバザー券配布、しあわせ講座開催、福祉施設への作業奉仕

【環境部会】緑道公園の清掃、ゴーヤ料理講習会、土器川清掃、ごみ回収ウォーク、防犯パトロール隊見守り活動、隊員らによる意見交換会

【保健部会】すくすくクラブ、

玄米にぎにぎダンベル体操、健康相談、健康教室、料理教室、幼稚園・保育所の行事参加

【体育部会】室内ベタンク大会、ラジオ体操、ニュースポーツ体験学習、ほくほくふれあいまつり・屋外競技部門企画運営、ソフトバレーボール、丸亀城新春ウォーキング



初めて体育館で対面式

城北防犯パトロール隊と城北小学校児童との対面式が4月14日、同小体育館でありました。式には、隊員や丸亀警察署、丸亀市、少年育成センター、PTAの関係者約50人が参加。パトロール隊と児童との対面式は今年で9年目。城北小学校舎全面改築のため同小運動場が使用できず、今回初めて同小体育館での対面式



じゅうじゅう君と1、2、3

丸亀市旗木更津市の空に掲がるも昭島市にはわずかにおよぼすチャレンジデー

今年の城北地区のチャレンジデーメインイベントは、「ラジオ体操と見守りウォーキング」。5月28日城北小学校体育館と通学路を中心に多くの住民が参加しました。

対戦は丸亀市対木更津市、昭

となりました。

その後、富士見団地へ帰宅する児童に先生、パトロール隊員が付き添い、さぬき浜街道に新設された横断歩道橋、新通学路をつかって自宅に向



新通学路を元気よく

島市。それぞれの参加率は72.5%、65.3%、72.8%。因みに城北地区では92.4%と驚異的な数字を達成しました。

チャレンジデーとは、毎年5月に世界中で実施されている「住民の健康づくり」や「地域の活性化」のきっかけづくりをするイベントで、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、この日、何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競うもので、敗者は相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚するというルールが特徴です。

(参加率・参加報告書提出数・住民数)

かいました。隊員たちは「安心、安全で登下校できるよう見守ろう」と思いました。

(環境部会)

健康作りのための運動教室

5月8日明倫センターで森明美先生の指導のもと、41人が受講しました。

6月頃から脂肪が燃焼する時期です。ちょっとした余暇を利用して手と足を伸ばす運動をすると良いそうです。いすに座って四股を踏む・姿勢をよくして腹回り・背中を伸ばす。足の裏を叩いて親指で押すのも良いそうです。

また寝転んで背伸びする。

指を開いたり折ったりするの



よいしよ、どっこいしよ

も運動になります。終わるころになると、激しい運動はしていないのに体がポカポカ温まってきました。(保健部会)

城北コミュニティ役員

(カッコ内は所属団体)

会長 鈴木巖(自治会) ▽顧問 細谷達則(前会長) ▽副会長 馬瀬賢(自治会)、鈴木勝榮(婦人会) ▽事務局長 砂本健(自治会) ▽会計 林絃史(自治会) ▽監事 津治義秀(自治会)、北本多壽子(自治会) ▽書記 尾松静子(自治会)、片山和雄(コミュニティセンター)

▽総務部会長 小野健一(自治会) ▽広報部会長 高畑玲子(民児協) ▽文化部会長 川田匡文(自治会) ▽福祉部会長 三村芳輝(民児協) ▽環境部会長 近藤照司(自治会) ▽保健部会長 中野実千代(愛育班) ▽体育部会長 佐野洋(自治会)

市長懇談会開催

城北コミュニティでは「コミュニティセンター市長懇談会」を7月31日(木)午前10時から明倫センターで開きます。参加対象者は代議員です。「大手町周辺公共施設の整備」について梶正治市長や市部長級らと意見交換を行います。また、自由課題の意見交換も行います。

ホウ酸だんご作り

5月21日明倫センターで35人がホウ酸だんごを作りました。ホウ酸だんごはゴキブリ退治にとっても効果があると好評。今回88人が申し込み、参加できない人の分も協力して作りました。(城北愛育班)

振替休館日が変わります

明倫センター

明倫センターでは、月曜日が祝日の場合、火曜日を振替休館としてきましたが、今後は左の表の通り日曜日を振替休館に変更します。

地域住民や生涯学習クラブなどから「行事の多い火曜日を閉館してほしい」との強い要望がありました。

変更前	変更後
平成26年 7月22日(火)	平成26年 7月20日(日)
平成26年 9月16日(火)	平成26年 9月14日(日)
平成26年10月14日(火)	平成26年10月12日(日)
平成26年11月 4日(火)	平成26年11月 2日(日)
平成26年11月25日(火)	平成26年11月22日(出)
※11月23日(日)が祝日のため	
平成27年 1月13日(火)	平成27年 1月11日(日)

歩け 歩け!!

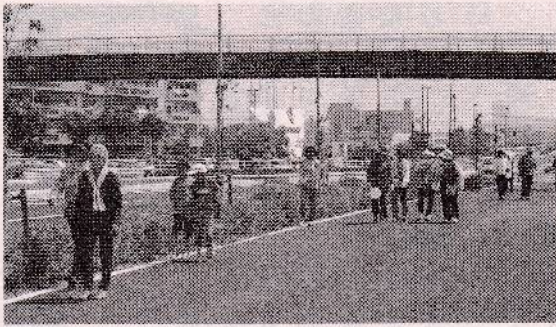
梅雨の晴れ間に

「ここにこウオーク」

「ここにこウオーク」を6月15日に行いました。今年のコースは新しくなったさぬき浜街道を通り、みなと公園へ。お弁当を食べた後には、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館へ行き、学芸員から展示物についての説明を受けました。

37人の参加がありました。(うち子供2人)

(体育部会)



広い歩道をいっぱい使って



花もいっぱい、笑顔もいっぱい

家族ハイキング

ことしの「家族ハイキング」は4月6日、国営讃岐まんのう公園を散策しました。今回はバスハイキングとして9時30分発。満員の参加者を乗せて一路目的地へ。

あいにくの天候でしたが色とりどりの花々に囲まれた中でそれなりに楽しく、園内周遊を行いました。途中でお弁当を広げおいしく食べました。久しぶりの公園入場を満喫できました。

(体育部会)

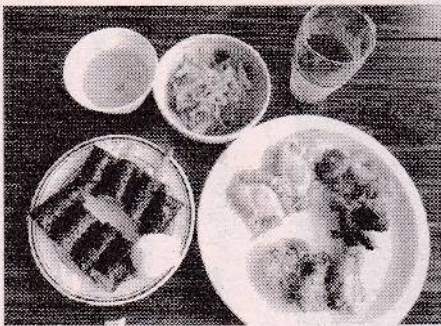
加工食品を使って

手軽に楽しいお弁当

子供たちの弁当の参考にと6月5日城北幼稚園の母親を対象に明倫センターで料理教室を開きました。

簡単細巻き、ミニ日玉焼き、海老のケチャップ炒め、豆腐花、豚肉のパン粉焼き、ニンジンとピーマンのカレーマヨ炒めを作りました。

細巻きでは大人用はアスパラを、子供用は魚肉ソーセージをノリの真ん中に入れるのと、ミニ日玉焼きは飾りウインナーの真ん中にウズラ卵をはみ出ないように割入れるの



おいしそう

が難しかったです。ウズラ卵にノリで日鼻を付けるとライオンになりました。

託児に預けている子供たちと一緒に和気あいあいと頂きました。

(保健部会)

出雲大社に参拝

城北婦人会では毎年レクリエーションで日帰り旅行を行っています。今年は6月2日に、44人で「遷宮とご婚約」でおめでたい出雲大社にお参りして来ました。ご本殿の新しく葺き替えられた屋根を見上げて思わず「合掌」。荘厳な雰囲気心洗われました。

次に行った松江城の堀川めぐりでは、橋の高さに一喜一憂しながら船頭さんのおもしろい話術を楽しんだ船旅でした。お天気にもめぐまれ、満足した一日を過ごしてきました。

(城北婦人会)

日赤募金のお礼

本年度は141万2600円の社資が寄せられ、日本赤十字社丸亀支部へ活動資金として納入了ました。

ご協力ありがとうございました。

(城北婦人会)

敬老会のご案内

城北地区敬老会は9月13日(土)午後1時から、昨年と同じ明倫センターで開催されます。75歳以上の方は招待状が届きます。楽しい催しを予定しておりますので、ぜひ出席ください。

(城北婦人会)

募集

調理(ゴージャル料理)の参加者を募集します。先着35人で、男性の方も大歓迎です。試食したい方も先着15人募集します。※明倫センターで受け付けます。料理の日程は後日お知らせします。

(環境部会)

行事案内

- 室内ペタンク大会
日時 7月20日(日)
午後9時30分から
- 場所 城北小学校体育館
- ニュースポーツ大会
日時 9月21日(日)
午前10時から
- 場所 明倫センター
軽運動室

(体育部会)

学園の現場から

城北幼稚園

園長 重成 山美

太陽がまぶしい季節となりました。城北幼稚園では46名の園児がピカピカの笑顔で友達と元気に、虫探しをしたり、鬼ごっこをしたり、水遊びをしたり、パワー全開で遊んでいます。

異年齢活動を日常的に取り入れている効果もあってか、クラスの枠を超えて、保育室を行き来したり、声を掛け合う場面も。子どもたちの友達づくりの才能には驚くばかりです。また、子どもたちは「見たがり屋の知りたがり屋さん」です。見て、聞いて、



おねえさんといっしょに電車ごっこ

触れて、感じて楽しんで、五感をいっぱい働かせて感動体験をしています。

先日の美術館ふれあいウォーク丸亀市猪熊弦一郎現代美術館見学では、地域の方と一緒に出かけ、さまざまな人のふれあいを楽しんだり、芸術に触れたり、発見や感動を共有でき、心揺さぶられる貴重な経験となりました。

子どもの笑顔いっぱい

重なる経験となりました。楽しい時、うれしい時、発見した時、何ができるようになった時、子どもたちはほとびきりの笑顔を見せてくれます。子どもの笑顔には、見ているこちらまで心が温かくなったり、時には勇気をもらえたり、そんなパワーがあります。そしてその笑顔は、保護者や温かく見守ってくださる地域の方に守られ、支えられていることを実感しています。

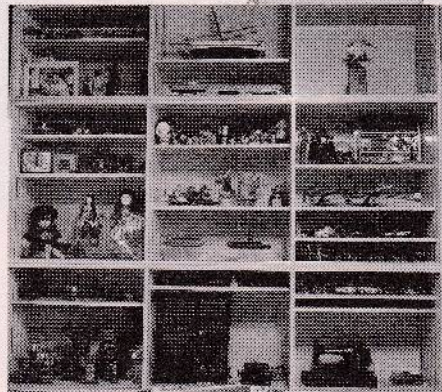
人や物と出合いを大切に、心も体も健やかな、子どもの笑顔の花がいっぱい咲かせられるよう努めたいと思います。今後ともご支援をお願いいたします。

城北コミュニケーションだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

案内されて通された居間の壁面いっぱいの特製ケースにコレクションがずらり。ミニチュアカー、ブリキのおもちゃ、文房具、バードカービング、工具など多種多様。収集者の葭町、大坪三郎さんは「子供の時 から集め始め、捨てず

に残してきた。数はわからない」と笑う。この部屋のもは、その一部らしい。県立職業訓練所教官時代に授業に使うために私費で購入した工具類がコレクターとしての「厚み」を感じさせます。文房具の中で

私の「宝」



コレクション 価値見いだす喜び

葭町 大坪三郎さん

す。文房具の中で

大坪さん「一押し」は、芯の硬さを表すHBとかFの記号が省略、式号と書かれている鉛筆。戦前の製品だが県下に3本だけのレアもの。「入手に約15年かかりました」。鉛筆けずりだけでも100個を超える。

大坪さんの影響を受けて育った長男の高畑正幸さんは、「文具上」として広く知られています。

「人の気がつかないようなものを、自分の価値判断で手に入れる。手放さない。私のコレクター道です」。収集は続きます。

④特製のケースに収められたコレクションの数々⑤ストレートエッジを手にする大坪さん。ストレートエッジは職業訓練所時代に手に入れたもの。鋼材の曲がり、凹凸を測定する

お願い

地域住民に登場を願う連載企画です。今回は「私の「宝」」ですが、「私の休日」「エコのすすめ」「思い出アルバム」「ちょっと便利」「おすすめの一品」など登場者に合ったタイトルを考えています。

白薦他薦歓迎です。明倫センターまでお知らせください。

あとがき

投資詐欺のパンフレットが郵送されてきました。内容は環境関連産業への投資信託を勧めるもので、高配当が一番に目に付き、百万円を振り込めというものでした。そして2〜3日後に電話が掛かってきました。相手の話に応答す

るのは危険と思い途中で切りましたが、振り込め詐欺は新聞やテレビの話ではなく、こんなに身近にあることに驚きました。

詐欺の手口は毎年巧妙になり、被害も増大しているそうです。お互いに、知らせ合い、気をつけましょう。

（橋本）

「城北コミュニケーション」の名称を「ともしび」紙上では「明倫センター」と表記しています。